



Isetan Mitsukoshi Group Labor Union

IMP D支部

Heart Net

労使協議会 報告広報

三越伊勢丹グループ労働組合 三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部 内線 801-23-911 外線 03-5273-5165

IMP D支部の皆さん、2025年度 春の交渉 メンバーズ VOICE のご参加、誠にありがとうございました。
3月14日(金)支部大会を経て3月18日(火)に労使協議会を開催しました。

組合の要求に対し、会社より満額回答をいただきました。

- 開催日時：3月18日(火)16:00～
- 開催場所：西新宿ビル8階会議室
- 参加者：(会社)手塚・長島・松永・中島・中務(敬称略) (組合)田中・鶴見

2025年度 春の交渉 終結！

手塚社長

田中執行委員長

会社より満額回答

＜労使協議会議題＞

- ①春の交渉メンバーズVOICE・支部大会報告
- ②賃金要求 ③会社回答 ④組合コメント ⑤会社コメント

＜春の交渉メンバーズ VOICE で寄せられた主な声＞ 2月18日(火)～3月12日(水)実施

- 参加者は該当者267名中、147名出席 出席率は55.1%となっています。
- ・今回の賃金要求は内容に納得性があり、月例給10,000円・時間給60円のベースアップはよいと思いました。
- ・昨今の物価上昇に対して、大手企業を中心に賃上げを実施している中なので、今回の要求は当然されるべき範囲の金額と感じています。今後もメンバーの生活に寄りそった対応をお願いします。
- ・社員の複線型人事制度について、専門性が活かせる良い制度と思っています。今後詳細な仕組み作りが必要と感じていますので、メンバーの働き方とも合わせてしっかりと進めていってほしい。

- ・社員も技能社員もスキルや経験を受け渡していく仕組みや教育体制を整えることが喫緊の課題と思っています。
 - ・案件終了後の振り返り(反省会)がないことが、問題と思う。
成功や失敗を携わったメンバー全員で話合う機会を作らないと今後につながらない。
 - ・次年度協議項目にある休日数の拡大は、従業員の満足はもちろん、入社する選択肢に大きく関わる内容と思うのでしっかり協議をお願いします。
 - ・社宅手当制度については、引き続き検討をお願いします。
- メンバーの声は記載以外にも多くいただいております、今後の協議の中でも労使にて共有をして活用をしていきます。

<田中執行委員長よりコメント>

労使協議会の終結に当たり、労働組合を代表して一言申し上げます。

今回の春の交渉では、初任給の引き上げ要求や、IMPDとしてこれまでで最も高い水準のベースアップ要求をおこないましたが、これらを含めて、満額の回答を頂けたことに対して感謝申し上げます。

2024年度の労使通年協議では、技能社員を対象に65歳までの定年延長をおこないました。

定年延長の制度改定を行うこと自体が、グループ全体としても画期的な事であると捉えており、IMPDでこれまで培った技術を踏まえた実績を受け継いでこられた技能社員が、60歳以降も継続できることは、とても意味のある制度改定だと捉えています。

また、社員についても、2025年度への継続検討とはなりますが、企業のすすむ方向性に即したあらたな人事制度を検討していきたいと考えています。

一方、働き方に関しては、様々な声を頂いています。

昨年の10月には、働き方アンケートも実施しましたが、働き方をもっと工夫し見直そうという建設的な意見も多くありましたが、その反面、要員面や環境面など、労使で協議や確認をおこなってすすめていかなくてはならないという意見もありました。

組合としては、メンバーが常に頑張ろうと意欲を持ち続けられる環境の整備が必要だと捉えています。

これらを踏まえ2025年度は、働く環境の整備に向け、労使でも協力しながら、より注力をして取り組んでいきたいと考えていますので、引き続きよろしく願いいたします。

本日はありがとうございました。

<手塚社長よりコメント>

1年間の労使での協議、お疲れ様でした。

今回の要求についてすべて同意をしました。

2025年春の交渉メンバーズ VOICEでのみなさんの声は、先程共有をいただきました。従業員のみなさんの声や労働組合が考えている働く環境については、経営としても、今後改善していかなくてはならないと思っています。

皆さんの声の中に要員不足のことや、労働負荷のものがありません。

これらは全て、「IMPDの科学」の推進をしていくことで改善できるものだと思います。

もちろん今後の計画に基づいた採用も積極的におこなっていきますが、現状では、働き方を工夫して生産性を上げていくことが求められています。今後、生産性を上げながら適正な利益を取る業務フロー「IMPDの科学」のブラッシュアップをおこなっていきます。働き方、労働時間、営業利益はすべて関係性がありますので、是非一緒に推進をしていき、みなさんの働く環境の改善に勤めていきたいと思っています。

次に技能社員の65歳までの定年延長は、私も画期的なことだと考えています。社員の定年延長は世の中の的にも65歳まで上げていくべきだと思っていますが、これは三越伊勢丹グループ全体での話も含めて、今後協議をしていかないといけない内容と思っています。

来年度も「IMPDの科学」の推進をしていき、みなさんの働く環境の改善や生産性の向上に向けて一緒にみなさんと取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

ご不明点・お問い合わせなどありましたら、下記連絡先までご連絡ください。

三越伊勢丹プロパティ・デザイン支部 田中・鶴見

内線：801-23-911 外線：03-5273-5165

